

2024 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
 代表者名 代 表 取 締 役 白 岩 直 人
 (東証 プライム市場・コード:7172)
 問合せ先 取締役 管理本部長 杉 本 健
 (TEL. 03-6550-9307)

太陽光発電所の銅線盗難防止ソリューションに関する 株式会社トリプルアイズとの業務提携契約締結に関するお知らせ

当社は、本日、株式会社トリプルアイズ(以下、「トリプルアイズ」)との間で、太陽光発電所の銅線盗難防止ソリューションを共同で事業展開することを目的とした、業務提携契約(以下、「本契約」)を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本契約の目的

当社グループは、2014 年より太陽光発電所の開発・運営を開始し、2024 年 6 月時点で、日本全国で 25 拠点、合計で 71.3MW の発電出力(太陽電池ベース)の発電所を稼働させ、主に投資家に金融商品として販売しております。売電開始後も管理・運営は、当社が行っており、2023 年は、累計で 73,959MWh の発電を行いました。これは、約 17,715 世帯分の年間電力消費量に相当します。

(※環境省「家庭部門の CO2 排出実態統計調査」より、1世帯当たり年間電力消費量を 4,175kWh として算出)

一方、昨今の太陽光発電事業を取り巻く業界環境は、施設内の銅線ケーブルの盗難被害が大きな社会問題となっております。当社が管理する太陽光発電所においても、複数回の被害に遭っております。これらの社会課題を早急に解決すべく、当社とトリプルアイズは、2023 年9月より、「太陽光発電施設における盗難防止ソリューション」の実証実験を重ねてまいりました。

(※AI 監視カメラを活用した太陽光発電施設での盗難対策、トリプルアイズとの共同実証実験開始のお知らせ
 2023 年4月 26 日発行 <https://ssl4.eir-parts.net/doc/7172/tdnet/2265399/00.pdf>)

実証実験においては、囲碁 AI の開発から生まれた画像認識プラットフォーム、「AIZE(アイズ)」によるビジネス変革に多くの実績を有するトリプルアイズが、当社が管理する太陽光発電所において、AI 監視カメラを活用したソリューションを試行してまいりました。その結果、一定の成果が見込めるものと判断し、今般サービス提供の開始を決断いたしました。サービス提供の開始にあたり、本契約を締結し、当社は主にマーケティング及び営業活動を担い、トリプルアイズは主に技術開発、工事の進捗管理及び契約管理を担ってまいります。

2. サービスの内容

サービス名称	AIZE Security
特長	1. AI×高機能ネットワークカメラを使用 特定の機能を持つネットワークカメラへ AI エンジンを実装し、詳細な追跡や観測が可能です。 2. AI×広範囲をカバーする補助機器 視野外の領域をカバーするための広角補助システムと AI を併用し、観測エリアの盲点を減らします。 3. 警告システムの作動 不正な動きを感知した場合に、視覚および音響で警告を行うシステムを実装しています。 4. 感知情報の即時通知 検出された情報は、事前に設定された受信先に即時に通知されます。 5. AI による誤報削減 AI 技術を活用し、不要な物体による誤認を減らし、特定の対象のみを正確に感知します。
施工・工期	地域、面積、地型による
価格帯	地域、面積、地型によるが、 設備規模 1MW(2 ヘクタール程度)の地型に各機器 1 セットを導入した場合、 ➤ 設備設置費用:300 万円～ ➤ 保守等の費用:5 万円～/月額 ※上記価格はあくまで目安となります。 ※配管・配線の距離や敷設方法によっては変更となる場合があります。

3. 今後の事業展望について

資源エネルギー庁の資料によると、現在国内の太陽光発電所は、2024 年2月時点で、全国に 4,870 か所あるとされています。中でも、北関東周辺の 6 県(福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県)には、24%の太陽光発電所が集中しております。盗難の被害も北関東周辺に集中しているとの調査結果が一部調査機関でも発表されております。

出典:資源エネルギー庁ウェブサイト

(<https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/electric power/ep002/results.html>)

こうした状況を踏まえて、北関東周辺の太陽光発電事業者、太陽光発電の O&M 事業者(運転管理(Operation)と保守点検(Maintenance)事業者)、に対してご提案を進めてまいります。また、損害保険会社、警備会社、各種自治体・公共機関とも連携を呼びかけながら、盗難被害撲滅に貢献してまいります。

4. 契約当事者の概要

名称	株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー (東証プライム上場:7172)
本店所在地	東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 1 号 霞が関コモンゲート西館 21 階
代表者の役職・氏名	代表取締役 白岩 直人
事業内容	金融ソリューション事業
設立年月日	2006 年 9 月 1 日
ホームページ	https://www.jia-ltd.com/

名称	株式会社トリプルアイズ（東証グロース上場:5026）
本店所在地	東京都千代田区神田駿河台三丁目4番地 龍名館本店ビルディング12階
代表者の役職・氏名	代表取締役 山田 雄一郎
事業内容	システムインテグレーションおよび AI プラットフォームの提供
設立年月日	2008 年 9 月 3 日
ホームページ	https://www.3-ize.jp/

※当社は、プライベート・エクイティ投資事業を行う 100%出資ファンドである、JPE 第 1 号株式会社を通じて、トリプルアイズに 4.89%の出資を行っております。(2023 年 8 月 31 日時点)

5. 業績への影響

現時点において、本件による 2024 年 12 月期の業績に与える影響は軽微です。開示すべき事項が生じましたら、直ちに開示いたします。

本件に関する問合せ先

技術的な問合せ先
株式会社トリプルアイズ
営業部
TEL:03-3526-2201

事業全般の問合せ先
株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
広報・IR室
TEL:03-6550-9307

以上